

術前に休薬していた抗血小板薬の投与再開を提案した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、患者に服薬状況の確認をすることで、薬剤の再開忘れや薬剤の不足を防ぎ、薬物治療効果の向上に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

・腹部大動脈瘤に対し手術を行った患者。

【既往】心筋梗塞

【主な持参薬】バイアスピリン錠 100mg 1回1錠 朝食後（手術前から休薬中）

Bさん



Bさん

こんにちは。調子いいです。もうすぐ退院ですよ。退院したら、次の受診までお薬が足りない気がするなあ。

Bさん、こんにちは。体調いかがですか？



薬剤師

もうすぐ退院ですか。自宅にあるお薬が少ないのですね。たしか、バイアスピリンは手術前から中止したままですよ。出血はないようですし、そろそろ再開したほうがいいかもしれません。自宅のお薬が少ないことと併せて先生に相談しておきます。



医師

为什么呢。

お疲れさまです。Bさんのことで相談があります。



Bさんからもうすぐ退院すると聞きました。出血もないようですし、心筋梗塞の既往もあるので術前から休薬している抗血小板薬のバイアスピリン錠 100mgをそろそろ再開してはどうでしょうか。

まだ再開していませんでしたね。出血もしていませんし、退院が近いので再開しましょう。



わかりました。

あと自宅の残薬が少ないようです。継続内服が必要な薬剤です。退院時には処方のご検討をお願いいたします。



バイアスピリン錠 100mg は再開され、副作用症状はなく退院した。患者の服薬状況を確認することで、術後に再開が必要な薬剤の内服再開と退院時の処方を提案し、適切な薬物治療に貢献することができた。